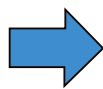


災害時に役立つ工夫を紹介します

災害時には、停電や断水などが発生する中で限られた品を上手に活用し、生活をしていかなければなりません。そこで、東日本大震災などの過去の災害で役に立ったと言われる品と、その活用法を紹介します。

災害時役立つ品① ラップ

- ・食器用…水不足のとき、食器の上に敷けば同じ皿を洗わずに何回も使える。
- ・救護用…包帯を頻繁に交換できないとき上からラップを巻き、ほこりや汚れから守る。
- ・防寒用…ラップを体に巻きつけ保温する。



災害時役立つ品② ポリ袋、レジ袋

- ・食器用…新聞紙の紙食器にかぶせる。
- ・調理ボール用…材料を混ぜる料理などで使用する。
- ・防寒、雨よけ用…袋の3か所に穴を開けて頭と両手を出して使用する。
- ・救護用…直接傷口に触らないほうが良いときに、手袋の代わりに使用する。



災害時役立つ品③ 新聞紙

- ・食器用…新聞紙を折ってビニール袋やアルミホイルをかぶせて紙食器ができる。
- ・防寒用…新聞紙をくしゃくしゃに丸めて、服の中に入れて体を暖める。
- ・救護用…新聞紙を折りたたんで骨折の応急手当に添え木代わりとして使用する。
- ・生活用品…新聞紙を折りたたみ、スリッパ、入れ物、袋の代わりに使用する。



「きょうだいの育てかたって難しいな」という、子育て中のママからの声を聞きました。下の子を抱っこすると「抱っこしたらだめ!」と上の子が怒ってしまい困っているとのことでした。

出産後に上の子が赤ちゃん返りして甘えたり、わざと排泄の失敗をして困らせたり、嫉妬から下の子に意地悪をしてみたり・・・といったことが上の子によく見られる行動パターンです。

下の子が産まれることで、突然現れたライバルに今まで独り占めしていた両親の愛情を取られてしまったと感じるのですから、穏やかではありません。そんな気持ちを察してあげる必要があります。

例えば、わざと排泄の失敗をしたとしましょう。その時考えなくてはいけないのは、どうしたら失敗しないかとい

う方法ではなく、なぜわざと失敗するのかという点です。そこには、わざと失敗することで「自分にかまってほしい!」「ママやパパに振り向いてほしい!」という切実な思いが行動の裏にあるのです。「ちゃんとトイレでしなさい」と叱ったり、排泄の失敗という行動だけに着目するのではなく、子どもの「私にかまって」という思いに伝えてあげることが問題行動の解決にもつながるのです。

上の子には、どうしても大きい子というイメージを持ってしまいますが、まだ生まれて数年の子どもです。少しでも1対1で関わってあげる時間を持つてあげ「大好きだよ」という思いを十分伝えてあげましょう。



総務課防災危機管理室



(25)

1118

一人一人が備えてこい!
防災力UP!鳥羽

vol.26

Vol.35



「きょうだい育て」

みんなで子育て
だっこで
ほっと

子育て支援センター
☎ (25) 7225